

企画展「申年の祝い 七福神と猿」展

会期：1月4日（月）～2月24日（水） 休館日：毎週木曜 2月25日（木）～29日（火）

入館料：一般320円、中～大学生210円、小学生以下105円

河鍋暁斎記念美術館の年始めは例年、おめでたい「七福神」で幕開けです。今年は1月より、暁斎・暁翠の描いた七福神図と、2016年の干支である申（猿）を描いた作品を展示しております。暁斎は写生の為に多くの動物を飼っていましたが、中でも猿を一番可愛がり、多くの絵を残しました。その猿の死後は自分の墓に入りたいと希望したものの実現しなかった、という逸話もあるほど、猿に親しみをもって接したのです。本展でも、写生から戯画まで、様々な猿の姿をご覧ください。

2匹の猿と柿とカマキリ 下絵（暁斎） 紙本墨画

右の猿は、全身を描いた上に紙を貼って、チャンチャンコを着せています。猿回しか見世物の猿を描こうとしたのでしょうか。猿は捕まえたカマキリを真剣に見つめています。しかし左足は掴んだ柿を放すまいと、しっかり握ったままです。猿の身体の毛の流れや、動物としての習性をよく捉えて描いています。



河鍋暁斎記念美術館のHPへはこちらから→
<http://kyosai-museum.jp/>



南小学校ひまわり学級（特別支援学級）

年が改まり、2016年を迎えて3学期がスタートしました。ひまわり学級の子どもたちは12月の持久走大会でも、練習から一生懸命走り、自らの課題を克服できるように努力しました。全員、立派な姿を見せてくれました。

12月3日に行われた、市内合同クリスマス会ではホスト校として、市内のひまわり学級、けやき学級の児童・生徒をお迎えしました。また、「おはなしくまさん」の方から人形劇や月の形が様々なものに変わっていく劇などを披露して頂き、物語に引き込まれてしまいました。今年もまた素晴らしいクリスマスプレゼントをいただきました。

12月22日には南小では恒例になった「レストランひまわり」をオープン！今年もひまわり学級の畑でとれた新鮮な大根を使ったけんちんうどんを作り、先生方に販売しました。多くの保護者の方々に協力頂き、大根やニンジンなどの野菜を切りました。ジャガイモやニンジン・大根の皮をピーラーでむいたり、こんにゃくや豆腐をスプーンでちぎったりする

ことを主に低学年は取り組みました。高学年はもちろん包丁で切ることに挑戦しました。上手にできて、味付けもおいしく完成です。「いらっしやいませ」「ありがとうございました。」の声も練習したかいがあつて立派に言えました。先生方に言ってもらった「おいしかったよ！」の声が最高のご褒美となりました。

大きな仕事をやり遂げた自信をそのままに、3学期は「卒業生を送る会」の劇へとつながっていきたいと思います。送る会では「おにぎりころりん」の劇をする予定です。これは去年に引き続き英語で表現します。お世話になった卒業生のみなさんへ、感謝の気持ちをこめて発表できるよう、そして卒業生自身が小学校生活の総まとめとして力を出し切れるように練習から頑張ってください。

2月6日（土）～2月9日（火）まで中央公民館1階にて、市内小・中児童生徒作品展が行われます。ひまわり学級の作品も多く出展いたしますのでぜひお越しください。